

収集・飼育・展示計画

当館は、今後も「海を通して『人と地球の未来』を考える」という基本理念のもとに、水際の環境を展示するという展示特徴を活かし唯一無二の展示を目指すため、以下の方針で事業を実施してまいります。

- ① 職員が生息地に赴き生物採集、情報収集に務めることにより、今まで注目されなかった生物や他の水族館では展示されていなかった生物を展示するよう努め、唯一無二の展示を実現していきます。市場に流通していない生物を展示することにより多様な生態系を再現し、環境に適応する生物の工夫を紹介していきます。
- ② 海洋資源の保全に寄与し、持続可能な展示を実現するため、飼育生物の繁殖、育成に努めます。自然界で消費される稚魚・幼魚などの若齢個体についても水槽内で育成することにより展示に繋げ、得られた情報については研究者、水産関係者等と共有し、適切な海洋利用に貢献します。
- ③ 移動水族館専用車（アクアラバン）を活用し、県内各地の小・中学校等に出向き、観察やふれあいの機会の提供や環境教育を推進します。

(1) 生物収集計画

展示及び研究目的のための生物の採集、購入及び輸送計画は、以下のとおりです。

- | | |
|-------------------|-------------|
| ① 淡水生物収集 | 4月～11月 |
| ② 沿岸生物収集 | 周年 |
| ③ 深海性生物収集 | 4月～6月、1月～3月 |
| ④ 北方系生物収集 | 周年 |
| ⑤ サンゴ礁、マングローブ生物収集 | 周年 |
| ⑥ 植物 | 周年 |
| ⑦ 蛇の目ビーチ生物収集 | 周年 |
| ⑧ 南方系生物収集 | 周年 |

特徴のある展示を目指すため、収集が困難なマグロ類や熱帯性魚類、その他カジキ類など飼育困難生物を、現地の海上生け簀にて蓄養、輸送を行います。

(2) 飼育生物管理

- ① 本館、BIOBIO かつぱの里、蛇の目ビーチ、アクアマリンえっぐ、わくわく里山・縄文の里、水生生物保全センターにおける飼育生物の管理を行います。
- ② 野生生物（海棲ほ乳類・鳥類等）の偏病保護と治療並びに飼育管理と自然復帰を行います。